

私は映画のコンペティションを信じていない。自作がそれに組み込まれるのは許さない。作品を観たいという人に観てもらうのは大歓迎だ。映画はスポーツではない。より優れた映画とはなんなのか。人によって答えは違うだろう。映画のコンペはパーティーなジョークでしかない。人間というものが何かをプロモートするために、優劣の差を設けることでしか表現できないだけのことだ。そしてその優劣の判断は非常に主観的な結論でしかない。自分たちのことを審査員だという連中が単に椅子に座って、この映画はあれよりいい、これよりはダメだという。クソくらえだ。そしてそんな連中にひょこひょこついていく犬どもはぜんぶクソだ！



WILLIAM FRIEDKIN

『真夜中のパーティー』『フレンチ・コネクション』『エクソシスト』『L.A.大捜査線／狼たちの街』
容赦なき大巨匠ウィリアム・フリードキン監督3作上映

鬼の素顔を暴く劇場初で最後の特別上映 非情と絶望の密林巨編、遂に国内最終上映 全米震撼獵奇連続殺人に切込んだ大問題作

『フリードキン・アンカット』『恐怖の報酬[オリジナル完全版]』『クルージング』
FRIEDKIN UNCUT SORCERER CRUISING



COPIA PAO FILM

キングレコード提供 コピアボア・フィルム配給

俳優も監督もどちらも職業だ。仕事を芸術家だなどと抜かすバカがいるが、頭がイカれてる。仕事をこなした先に初めて芸術が生まれる。

私自身は芸術家だとは思っていない。そんなことを思った瞬間、終わりだ。

プロフェッショナルに徹してただ努力することが大事だ。

そして物語を作り続けることだ。

映画に対する容赦ない姿勢で数々の重要な作を歴史に刻んだ『フレンチ・コネクション』『エクソシスト』の巨匠、ウィリアム・フリードキン。近年再上映され、その評価を180度覆したキャリアの裏街道2作『恐怖の報酬【オリジナル完全版】』『クルージング』と、日本初の劇場上映となる、フリードキンの映画監督としての姿、そしてその人間性に初めて迫った記録映画『フリードキン・アンカット』の3作を一週間限定上映。

彼は悪の哲学は述べない。悪そのものを提示する。—フランシス・フォード・コッポラ

彼はどこかヒッチcockkのようだ。アートと商業性の完璧な融合だ。—デイミアン・チャゼル

途方もない『フレンチ・コネクション』に影響を受けていない刑事ドラマは存在しない。—ウォルター・ヒル

彼の映画のなかには必ず現実との接点の何かがある。—ヴィレム・デフォー

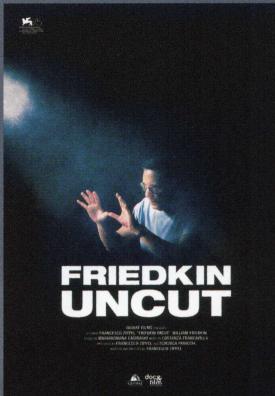
彼はいい刑事になったにちがいない。—ランディ・ジャーゲンセン

彼の作品はあまりにリアル過ぎて、絶対に色褪せることはない。—エドガー・ライト

彼の映画は、人間が考え得る最も深遠な恐怖に対峙する。—キャレブ・デシャネル

『フリードキン・アンカット』

2018年 イタリア映画 | 106分 | 原題:FRIEDKIN UNCUT



© 2018 Quoat Films. All Rights Reserved.

製作期間2年、3大陸5カ国の大ロケーション、製作費100億円超。ミニチュート切り刻まれた【短縮版】の公開から40年を経て、遂にその真の姿を現した怪物。フリードキンが全身全霊を込めて放った非情と絶望の超重量級サスペンス巨編。

『恐怖の報酬』は自分の中で最高の1本だ。
私が監督した中で最も大切な作品だ。

『恐怖の報酬【オリジナル完全版】』

1977年 アメリカ映画 | 121分 | 原題:SORCERER(魔術師)



© MCMXXVIII by FILM PROPERTIES INTERNATIONAL N.V. All rights reserved.

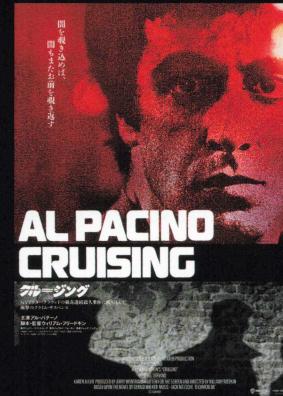
- 監督:フランチェスコ・ジッペル
- 出演:ウィリアム・フリードキン
フランシス・フォード・コッポラ(『ゴッドファーザー』『地獄の黙示録』監督)
エレン・バースティン(『エクソシスト』主演)
ウェス・アンダーソン(『ザ・ロイヤル・テネンbaumズ』監督)
クエンティン・タランティーノ(『ワシントン・アボン・ア・タイム・イン・ハリウッド』監督)
マシュー・マコノヒー(『キラー・スナイパー』主演)
デイミアン・チャゼル(『ラ・ランド』監督)
ウォルター・ヒル(『ストリート・オブ・ファイア』監督)
ヴィレム・デフォー(『L.A.大捜査線／狼たちの街』出演)
エドガー・ライト(『ペイビー・ドライバー』監督)
ダリオ・アルジェント(『サスペリア』監督)
マイケル・シャノン(『BUG』主演)
ウォロン・グリーン(『恐怖の報酬』脚本)
ウィリアム・ピーターセン(『L.A.大捜査線／狼たちの街』主演)
ジーニー・ガーシヨン(『キラー・スナイパー』主演)
キャレブ・デシャネル(『キラー・スナイパー』撮影)
スピービン・メータ(『アンド出身の指揮者』)
ランディ・ジャーゲンセン(元ニューヨーク市警の捜査官)
フィリップ・カウフマン(『SF/ボディ・スナッチャー』監督)

NYアンダーグラウンドの獵奇連続殺人事件に斬り込んだ、全米震撼の大問題作。

『クルージング』に興味を持ったのは、身近ではない世界での殺人事件だからだ。理由はそれだけだ。政治的意図はない。今までの監督作で政治的意図を込めたことは一度もない。政治的意図を持って撮ったりはしない。そしてはっきり言って、政治も政治家も信じてない。

『クルージング』

1980年 アメリカ映画 | 102分 | 原題:CRUISING



- 脚本・監督:ウィリアム・フリードキン
- 原作:ジェラルド・ウォーカー
- 音楽:ジャック・ニッティ
- 出演:アル・パチーノ
ポール・ソルヴィーノ
カレン・アレン
リチャード・コックス

NYゲイ・コミュニティ獵奇連続殺人の容疑者が、『エクソシスト』に出演したX線技師だったことに衝撃を受けフリードキンが映画製作を決意。面会したフリードキンに対し容疑者はSMクラブで会った男とアパートでセックスしてからフライパンで頭部を殴打、胸をナイフで切り刻んだと告白した。想像を絶する狂態を脚本に盛り込み、フリードキンはかつてないクライム・サスペンスを作り上げた。そして同様の作品は以後、二度と現れていない。

7月11日(金)より 容赦なく1週間限定上映

■『フリードキン・アンカット』・7/12(土) ■『恐怖の報酬』・7/11(金)・7/13(日)・7/14(月)・7/16(水) ■『クルージング』・7/15(火)・7/17(木)

*上映時間は劇場HPでご確認ください。

地下鉄新宿三丁目駅B2出口より徒歩1分
シネマート 新宿

03(5369)2831 www.cinemart.co.jp